

2021.09.28

InterRisk Thailand Flood Report <2021 No.05>

台風 Dianmu による大雨と洪水

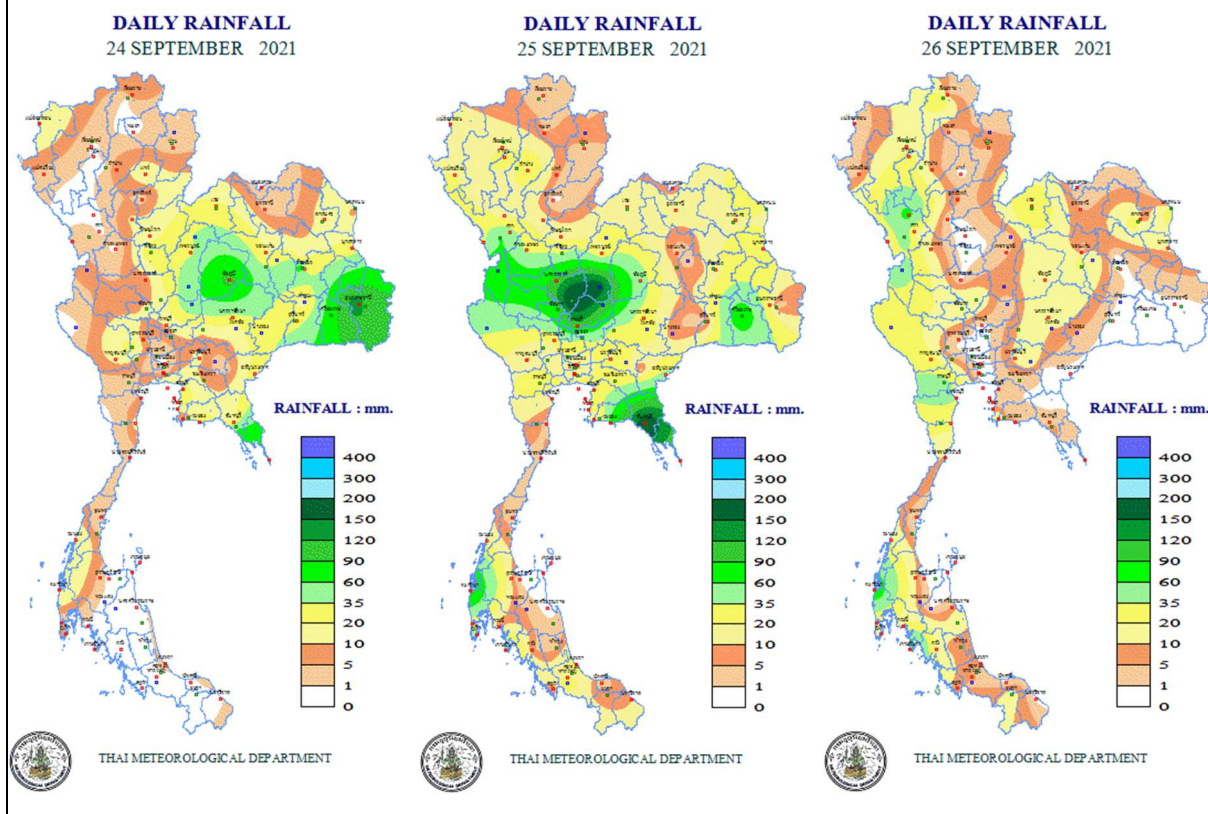
概要

- ✓ 先週末、台風 Dianmu の影響で、タイの北部、北東部、中部を中心に大雨が降りました。
- ✓ タイ災害防止軽減局（DDPM：Department of Disaster Prevention and Mitigation）によると、9 月中旬のモンスーンによる大雨と台風 Dianmu の影響により、27 の県で 58,977 世帯が洪水の被害を受けています。
- ✓ DDPM によると、北部の Sukhothai 県と中部の Lopburi 県で深刻な被害が発生しています。
- ✓ チャオプラヤ川上流域における一部主要ダムの水量は、9 月の 1 か月間で急激に増加しました。
- ✓ チャオプラヤ川の水位は、いくつかの観測地点で“Critical（警告）”レベルに達しています。今後、ダムからの放水量が増加した場合、河川の水位はさらに上昇する可能性があります。

台風 Dianmu による大雨

※台風 Dianmu は 9 月 25 日に低気圧になったため、正確には全ての降雨が「台風」の影響によるものではありませんが、本ニュースでは台風 Dianmu の影響と表現します。

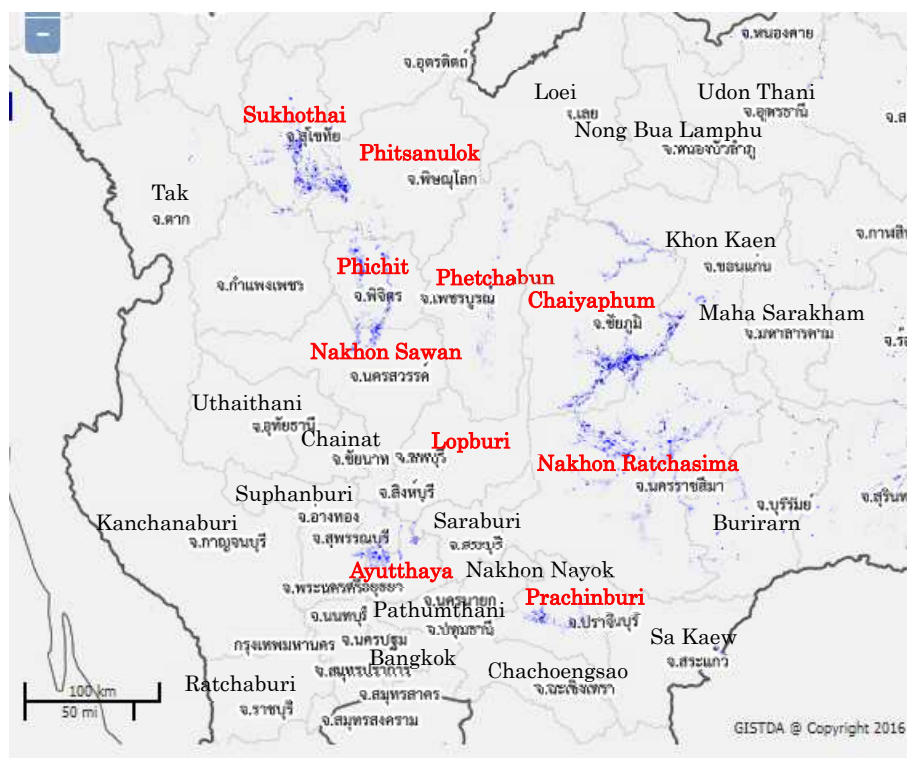
台風 Dianmu の影響により、9 月 23 日から 26 日頃にかけて、タイ北部、北東部、中部を中心に大雨が発生しました。9 月 24 日、25 日、26 日の日降水量マップを下図に示します。9 月 24 日、25 日には、タイ北部、北東部、中部、東部で、日降水量 100mm～200mm の雨が観測されています。



洪水による被害

災害防止軽減局（DDPM）によると、タイ北部の Sukhothai 県で 7,392 世帯、中部の Lopburi 県、Chaiyaphum 県でそれぞれ 37,451 世帯、453 世帯が洪水による被害を受けています。

下図は、GISTDA（Geo-Informatics and Space Technology Development Agency）が公表している過去 7 日間（9 月 21 日～9 月 27 日）の浸水エリアマップ（内水氾濫、鉄砲水を含む）です。同図によると上記 3 県その他、Phitsanulok 県、Phichit 県、Phetchabun 県、Nakhon Sawan 県、Nakhon Ratchasima 県、Prachinburi 県、Ayutthaya 県等でも洪水が発生しています。Nakhon Ratchasima 県では、一部の貯水池で水量がキャパシティを超えたため、県政府から警告が発せられています。



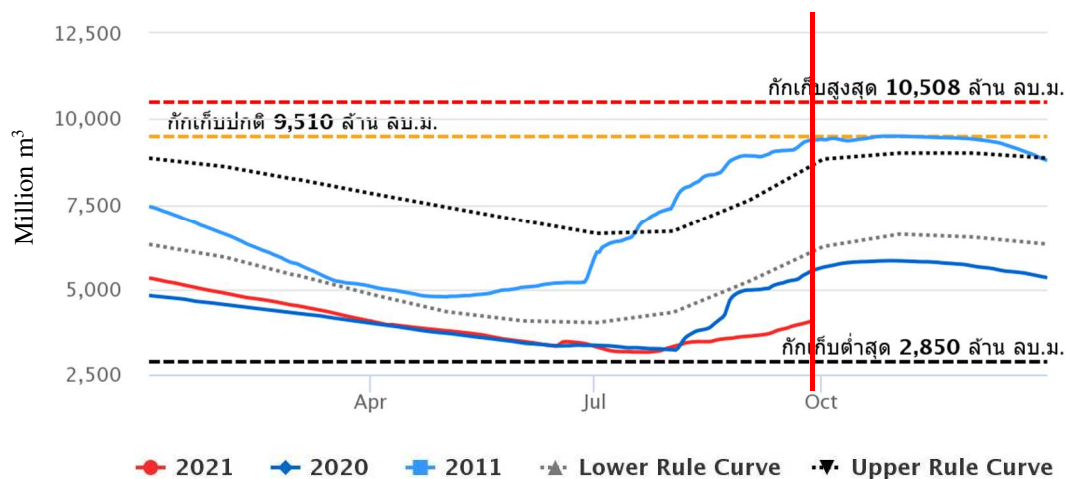
今後の天気

タイ気象局によれば、今週の天気は以下のように予測されています。

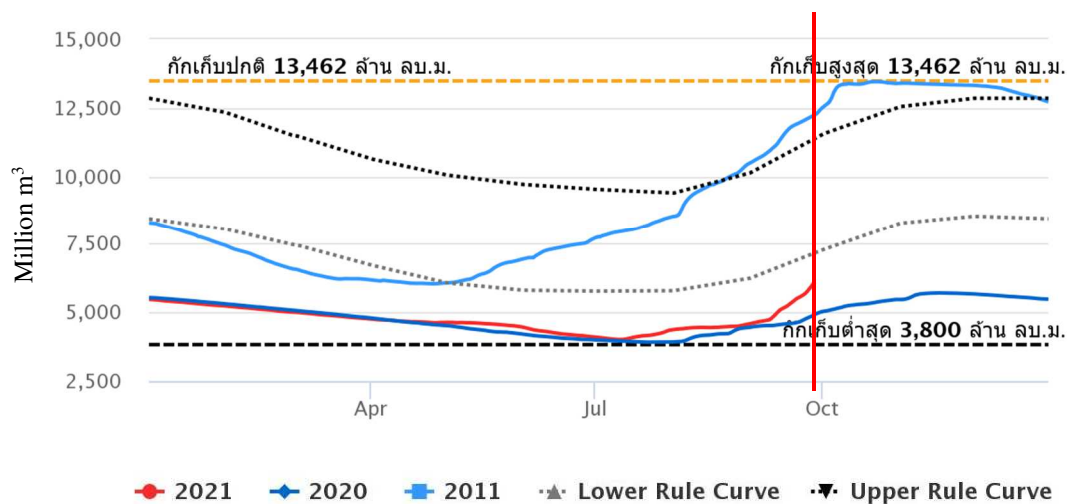
「9 月 28 日～30 日は、アンダマン海、タイ湾の弱い南西モンスーンの影響により、タイ中部から南部にかけてモンスーントラフ（周囲から風が集まる低圧部で雲が発達しやすいエリア）が発生します。全国的な雨量は少ないですが、タイ東部、南部の一部では大雨となる可能性があります。10 月 1 日～3 日は、弱いモンスーントラフが上昇し、タイ北部、北東部、中部、東部に移動します。また、アンダマン海、タイ湾では南西モンスーンが強まり、再び雨が多くなる見込みです。特に東部、南部では局所的に大雨となる可能性があります。」

ダム貯水量（Sirikit ダム、Bhumibol ダム）

貯水量：Sirikit ダム（貯水率 43%：2021 年 9 月 26 日時点）



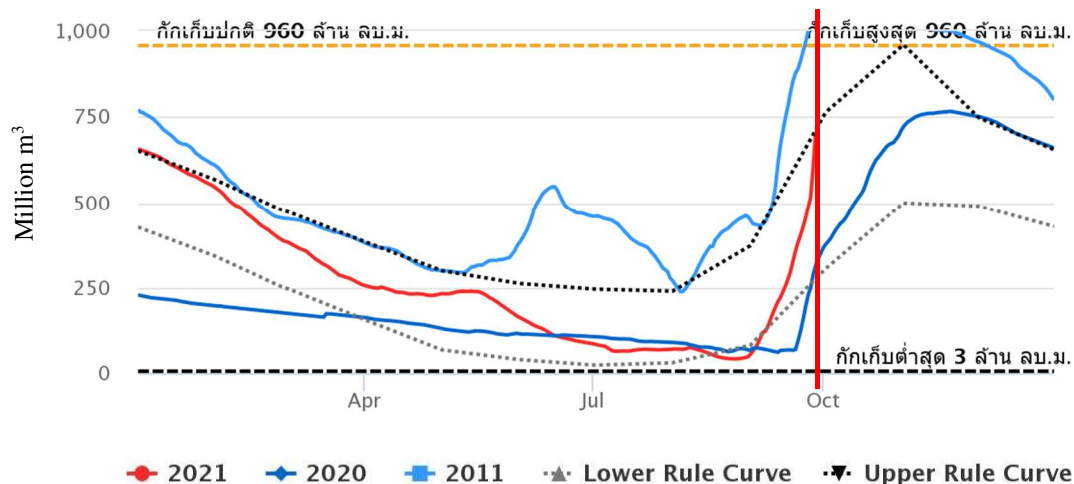
貯水量：Bhumibol ダム（貯水率 45%：2021 年 9 月 26 日時点）



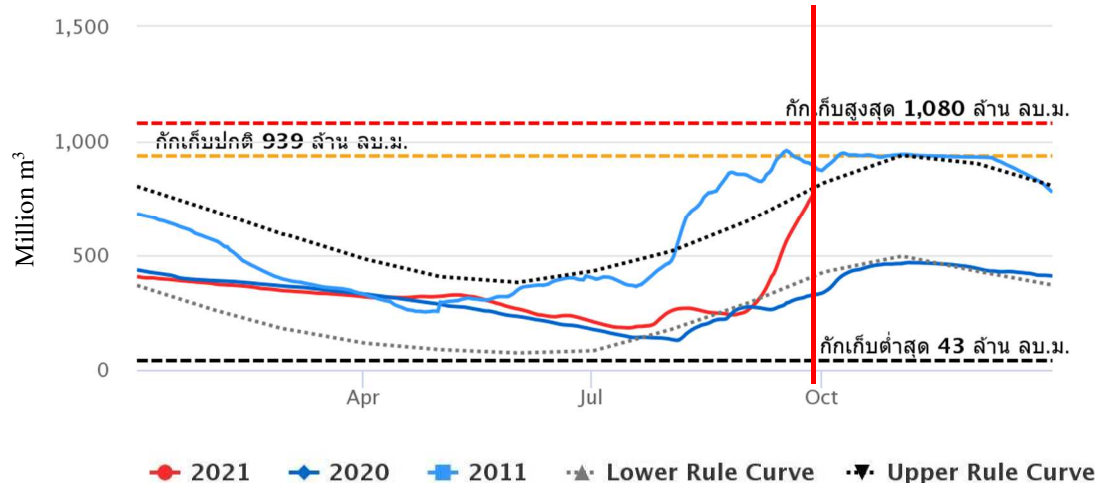
9 月上旬から中旬にかけての大雨と台風 Dianmu の影響により、9 月 1 日以降、Sirikit ダムと Bhumibol ダムの貯水量はそれぞれ 5%、11% 増加しました。今後も大雨により両ダムの貯水量が増加する可能性があり、注視する必要があります。一方、現時点の貯水量は、大規模洪水が発生した 2011 年の半分程度です。

ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム)

貯水量 : Pasak ダム (貯水率 73% : 2021 年 9 月 26 日時点)



貯水量 : Kwaenoi ダム (貯水率 83% : 2021 年 9 月 26 日時点)



9 月上旬から中旬にかけての大雨と台風 Dianmu の影響により、9 月 1 日以降、Pasak ダムと Kwaenoi ダムの貯水量はそれぞれ 67%、55%増加しました。Pasak ダムの貯水量は、例年 9 月に急増する傾向がありますが、今年は台風 Dianmu の影響で、貯水量が運用レベルの上限にほぼ達しています。Kwaenoi ダムの水位もほぼ運用レベルの上限に達しており、2011 年における同時期の水位の約 85% となっています。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流：2021 年 9 月 27 日時点）

9 月 1 日以降、チャオプラヤ川上流域の水位が急激に上昇しています。Sukhothai と Phichit の間では河川の氾濫が発生しており、Wang 川、Nan 川、および主要 4 河川の合流点付近の水位は”Critical（警告）”レベルに達しています。

Water Situation in the Chao Phraya River
27th September 2021

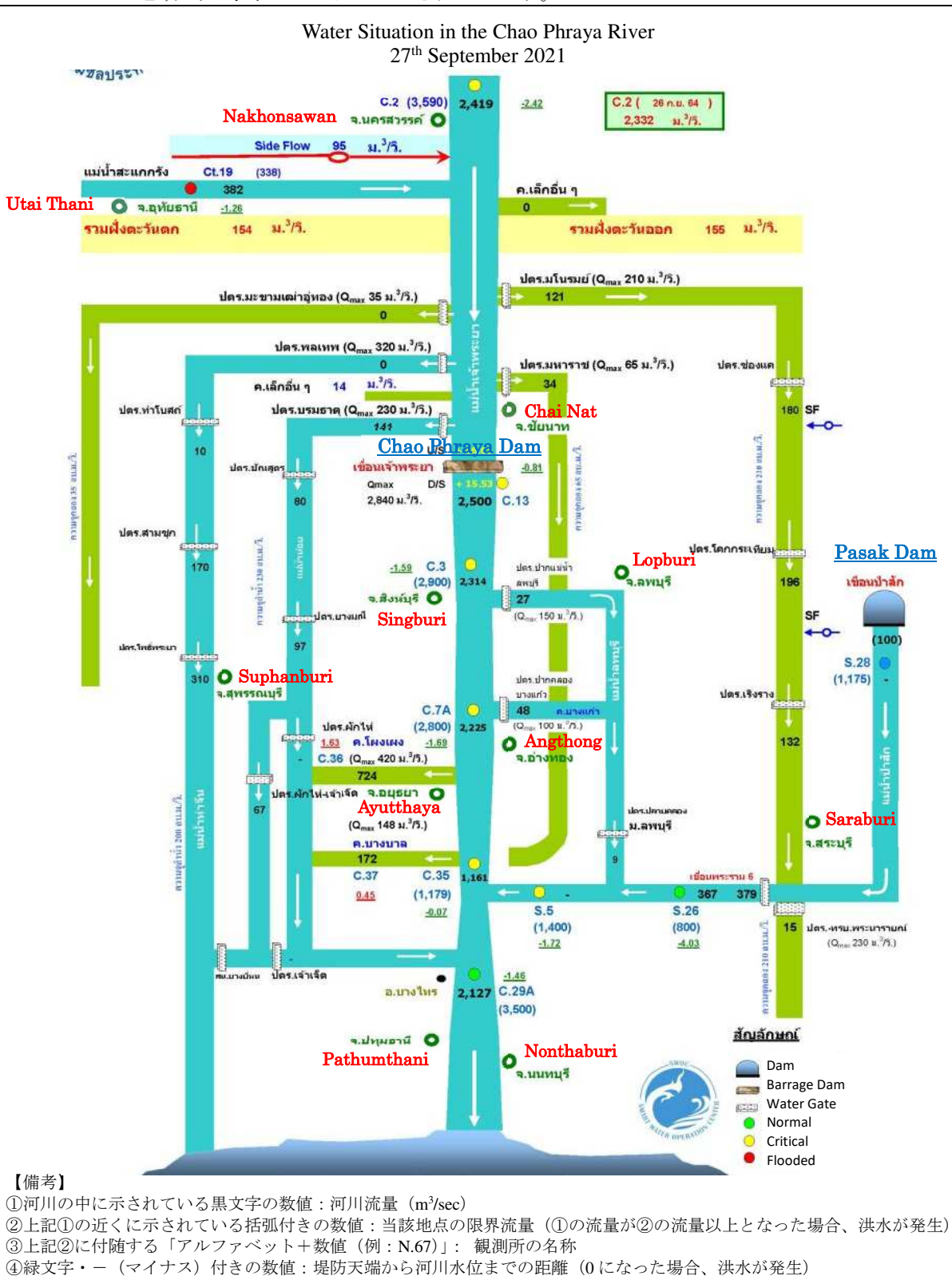


【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流：2021 年 9 月 27 日時点）

チャオプラヤ川下流域の水位も急激に上昇しています。Utai Thani では河川の氾濫が発生し、いくつかの観測地点では水位が”Critical（警告）”レベルに達しています。しかしながら、河川流量は未だほとんどの地域で人為的にコントロールされています。



参照

<https://floodlist.com/asia/thailand-tropical-storm-dianmu-floods-september-2021>

<https://mgronline.com/local/detail/9640000095509>

<http://flood.gistda.or.th/>

https://www.tmd.go.th/en/7-day_forecast.php

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/DailyRain.php>

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

<http://www.thaiwater.net/water/dam/large>

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=27092021

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=27092021

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2021